

東芝キャリア(株) 津山事業所 サイトレポート情報	
所在地	岡山県津山市国分寺555番地
敷地面積:249,721m ² 、建家面積:30,289m ² 、緑化率: 53.3%	
設立	2008年4月、従業員: 195人(2011年6月現在、関連会社含む)
主要製品	業務用空調機器
ISO14001認証取得:2007年2月、最新更新年月:2011年2月 (ISO認証番号: EC06J0258)	



ごあいさつ

津山事業所内には、池、竹林、雑木林を保有し、鹿、猪、野うさぎ、カワセミ、キジ、マガモ、カッコウ、鯉、メダカなどの多様な動植物が生息している自然あふれた立地条件にあります。この自然を活かし育て、共存しながら、大形空調事業の環境先端拠点として成長していきたいと考えています。



環境保全責任者 森田 富男

2010年度の環境の主な取り組み

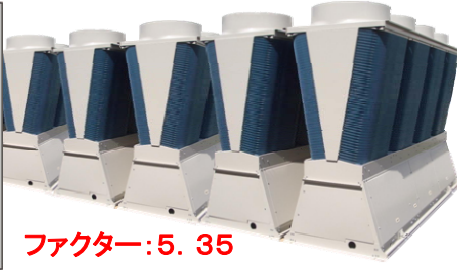
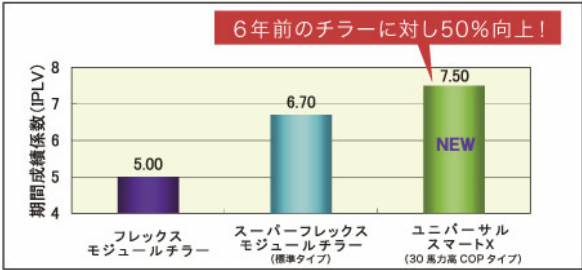
- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
2007年2月に認証取得。2011年2月に維持審査終了。
- ☆環境保全体制の充実
法令、条例の順守。現場管理の強化。専門部会設置(省エネ委員会、廃棄物委員会、生物多様性WG)
- ☆CO2排出量の削減
空気圧縮機圧力制御の変更、洗浄ポンプのインバーター化、誘導灯LED化、塗装乾燥設備省エネ改善
中国電力(株)による省エネ診断実施し、省エネ施策の計画、実施
エネルギー起源CO2の生産原単位を1990年度と比べて35%削減。
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量の生産高原単位を2000年度と比べて22%削減。ゼロエミッション0%(完全ゴミ0化達成)
- ☆生物多様性活動
従業員による事業所内植栽の実施(アカマツ20本、ヤマモミジ10本、クスノキ10)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

東芝エクセレントECPの認定を受けました。

業界最高クラスの
期間成績係数達成
年間を通じて高効率な運転可能
冷却COP6.3を空冷にて実現

ユニバーサルスマートX(USX)シリーズ



ファクター: 5.35

環境コミュニケーションの紹介

- ・東芝デーの実施:工場進入路周辺の清掃活動(国道)
- ・行政、町内役員様との環境対話会実施 :環境への取組み意見交換会
- ・最終放流口の三者立会実施:行政、町内会役員様立会いのもと排水の採水し分析結果を報告
- ・環境月間行事としてブラックイルミネーション参加

TCC津山事業所 環境基本方針

東芝キャリア株式会社 津山事業所は「“かけがえのない地球環境“を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」を基本理念とし、業務用空調機器の製造拠点として環境負荷の低減に配慮した生産活動等を通じて社会に貢献することを目指します。そして事業所内の多くの自然緑地を活かし「人と自然が共生できる」環境保全活動の推進をします。

1. 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境目的および環境目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上に全従業員で取り組みます。
2. 環境に関する法令、及び当社が同意したその他の要求事項を順守するとともに、自主基準を設けて環境保全活動を推進します。
3. 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 当事業所の活動、製品、サービスに関わる環境側面について、環境負荷の低減や環境汚染予防をめざした環境保全活動を推進します。
 - 1) 電気、ガス等エネルギー使用の合理化をし、CO2排出の削減を推進します。
 - 2) 資源の有効活用、廃棄物の排出制御と再資源化の推進を図り環境負荷低減に取り組みます。
 - 3) 冷媒ガス等温室効果ガスの管理強化により地球温暖化防止に努めます。
5. この環境基本方針の達成のため、当事業所内の関連会社を含む全部門、常駐会社の社員を含む全従業員をあげて環境管理を推進します。また、この環境基本方針は広く一般に開示します。

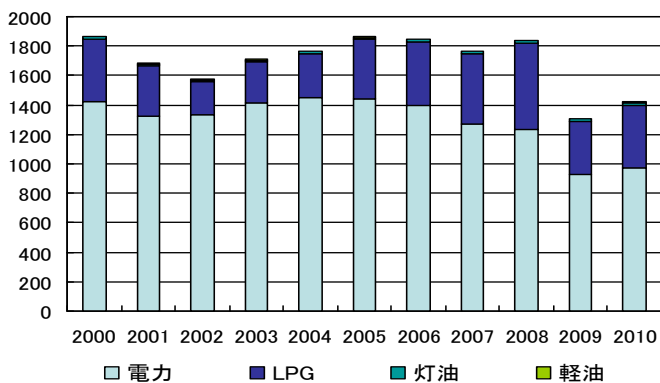
平成22年 10月1日

東芝キャリア株式会社 津山事業所環境保全責任者

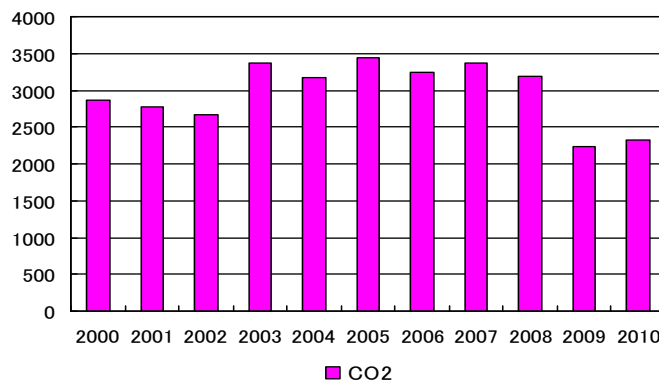
森田 富男

環境負荷データ

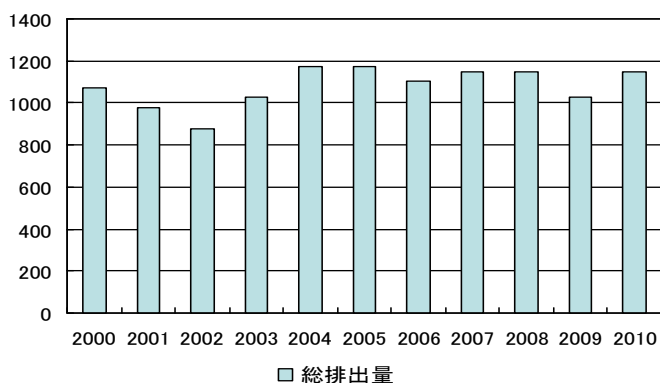
エネルギー使用量(単位:KL)



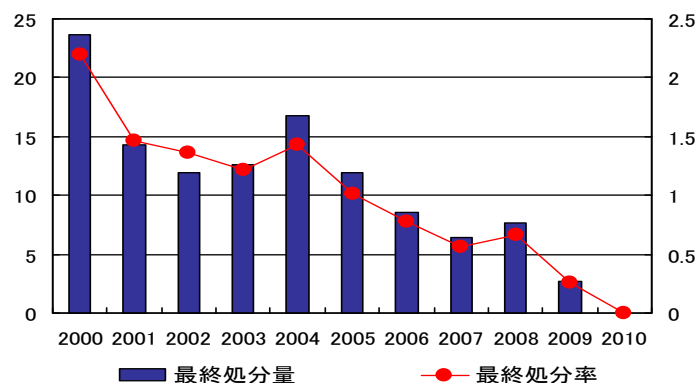
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

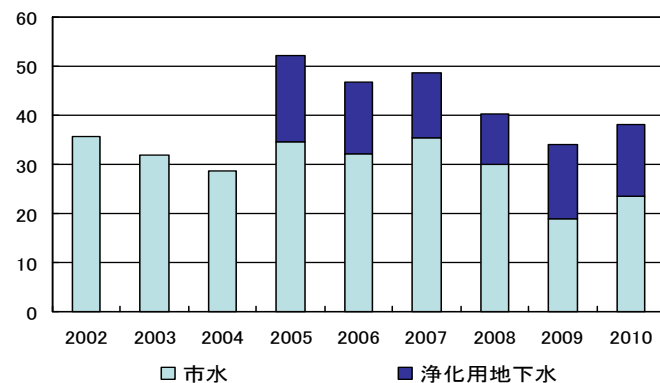


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

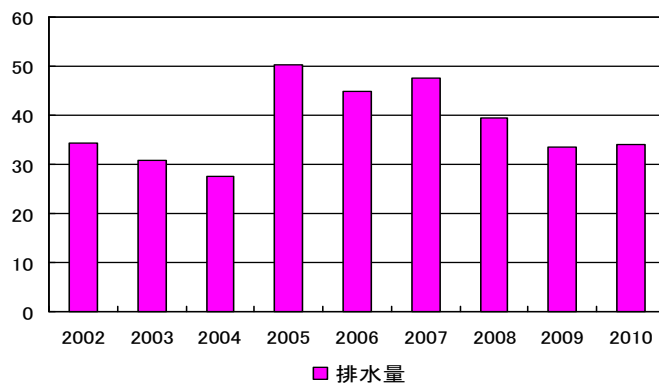


主な廃物名: 金属、汚泥、木屑、プラスチック、油等

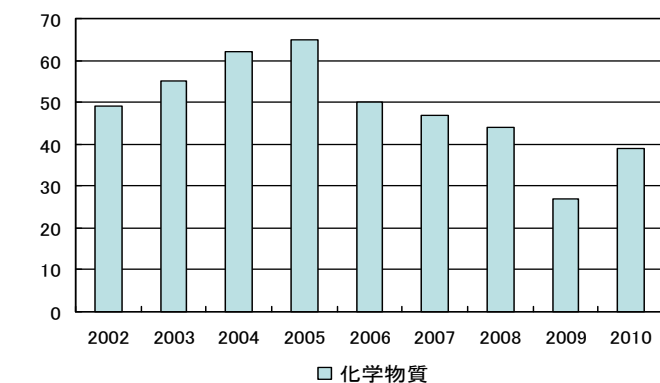
水の使用量(単位:千m³)



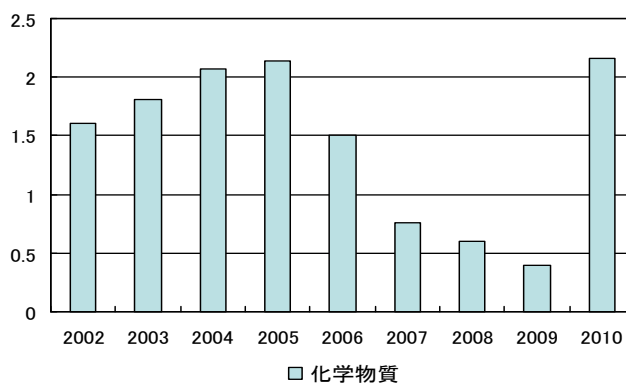
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 塩化第2鉄、キシレン、トルエン、エチルベンゼン等

遵法管理状況

<大気測定結果>(小型貫流ボイラー(ブタンエアークラス使用) 2台)

NOx, SOx(品管用ボイラー:2011年3月14日測定結果) ばいじん(品管用ボイラー:2006年9月7日測定結果)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(volppm)	150	100	44	年2回
SOx(K値)	17.5	3	<0.02未満	年2回
ばいじん(g/Nm3)	0.1	0.1	0.001	1回/5年

<排水測定結果>(主な測定結果)(塗装前処理施設(酸又はアルカリ表面処理施設))、河川(広戸川～吉井川)へ放流 (2011年2月23日測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.0～8.5(市協定値)	6.1～8.4	7.6	1回/3ヶ月
BOD(mg/ℓ)	最大15(市協定値)	最大10	4.3	1回/3ヶ月
COD(mg/ℓ)	最大30(県上乗せ基準)	最大20	1.0	1回/3ヶ月
SS(mg/ℓ)	最大50(市協定値)	最大30	不検出(0.5以下)	1回/3ヶ月

<騒音・振動境界線測定結果>(騒音・振動:特定施設(機械プレス))

(2011年3月15日測定結果)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	60	46	年1回
	敷地境界:夜	50	50	40	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	50	<30未満	年1回
	敷地境界:夜	60	50	<30未満	年1回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし